

じょい joy

福祉目線
のタウン情報通信

06

2023.6.22

- 特集…… P2-3
- ふくし掲示板…… P2-3
- わが町のふくし人…… P3
- 矢巾町サロン情報…… P4



特集 生活支援コーディネーターがお届けする
高齢者にやさしいお店
高齢者・障がい者にお弁当を配達する
矢巾町内配食サービス事業



前回までの
じょい joy は
こちらから



生活支援コーディネーターがお届けする 高齢者に やさしいお店

「高齢者にやさしいお店」とは、「認知症サポーター養成講座」を受講して認知症を正しく理解し、地域の高齢者に「やさしく」「利用しやすい」工夫やサービス提供をしている店舗・事業所のことです。じょい joy は、登録店の情報の掲載を通じて町中に「やさしいお店」が広がっていくことを期待しています！

「生活支援コーディネーター」の役割は？
地域に暮らす皆さまが、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域の「困りごと」を把握し、お互いの「助け合い」を支援します。



じょい joy マスコット犬
じょいワン・もみぢちゃん

丸三建設株式会社 [まるさんけんせつかぶしがいしゃ]

1960年創業以来、「誠実と誠意」を信念とし「お客様が安心して住み続ける家づくり」をモットーに営業しています。地域に密着した企業として地域活動を積極的に行い、いつもお客様の立場に立ち、住むほどに味わいのある家づくりを目指しています。今回、認知症サポーター養成講座を受けた福祉住環境コーディネーターの齊藤修子さんは、「いつもと違うことに気づく感覚が大事。相手の目を見てお話を聞き、しっかりと理解することを大切にしています」と話していました。定期的に地域コミュニケーション活動を行っています。お気軽にお問い合わせ・ご参加ください。

DATA
住所▶矢巾町大字下矢次2-341-1
Tel▶019-697-2323
営業時間▶8:00~17:30
定休日▶第2、4土曜日 毎週日曜日

- ①矢巾東小学校の西側にあります。黒っぽい建物が目をひきます！
- ②花いっぱい素敵な庭があります。冬は通学路を照らしたいという思いでイルミネーションを飾っています。
- ③福祉住環境コーディネーターの齊藤修子さん。



矢巾町内配食サービス事業

矢巾町には、一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、障がい者世帯など、食事づくりが困難な方に対し、栄養バランスのとれた弁当を配達することで地域での自立した生活を支援する事業があります。配達時には安否確認を行い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようみんなで取り組んでいます。

■ 矢巾町社会福祉協議会事業 ふれあい弁当

【対象者】 70歳以上の一人暮らし高齢者・高齢者のみの世帯並びに障がい者のみの世帯で食事づくりが困難な方
【料金】 1食 200円
【配達日】 原則毎月第2月曜・最終月曜の夕食 ※祝日等で変更になる場合があります。



ふれあい弁当が届くまで

13:00 調理ボランティア 調理開始
栄養士が栄養のバランスを考えた弁当を、調理ボランティアの皆さんで役割分担しながら、手際よく作っていきます。



15:00 お弁当完成
約2時間で完成しました。この後、弁当は配達ボランティアさんに引き継がれます。

【この日の献立】
豚肉のロールカツ（オクラ・人参）、ほうれん草胡麻和え、じゃが芋青のり和え、切り干し大根煮、卵焼き、イチゴ



15:30~17:00 配達ボランティア 弁当配達
配達ボランティアさんが、利用者のご自宅にお伺いし、変わったことがないかなどのお声掛けをしながら直接渡しています。

【配達ボランティア 村松富貴子さん】
配達時に1時間ほど話し込んでしまうこともあります。現在は3世帯にお届けしていますが、月2回の配達なので負担を感じることなく続けられています。

【利用者 中村ミサ子さん】
民生児童委員でもある富貴子さんに声をかけられて利用を始めました。特に卵焼きが気に入りで、毎回お弁当を開けるのが楽しみです。富貴子さんが配達してくれる安心感もあります。

利用を希望する方、調理・配達ボランティアに興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【申込・問い合わせ先】 矢巾町社会福祉協議会 611-2840

■ 矢巾町事業 配食サービス事業

町が委託した業者(3社)が栄養バランスのとれたお弁当をお届けします。町から週3食まで、1食につき250円が助成されます。(利用者負担は1食約315円~350円 ※業者によって異なります。)
※特別な病人食(カロリーコントロール食等)には対応していません
【対象者】 65歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯、これに準ずる世帯並びに身体障害者であって在宅の方。詳細はお問い合わせください。
【申込・問い合わせ先】 矢巾町健康長寿課 611-2830



3.くし 掲示板

スクールガードボランティア

矢巾町内では多くのボランティアの方が、児童生徒の登下校時の安全確保を目的に、子どもたちを見守る「スクールガード」の活動を行っています。地域全体で取り組むことで、犯罪や事故が起きにくい環境をつくっています。



- 実際にはどんな活動をしているの？**
登下校時の学校周辺及び身近な通学路での巡視
自宅の庭先や店先、農作業中や散歩中の見守り
学校へ地域安全についての情報提供などが活動例です。
- 活動中の事故に対しては？**
登録していただいた方には、町でボランティア保険への加入手続きを行います。
- 活動期間は？**
年度更新ですが、継続の場合は申し込みの必要はありません。
- 実際に活動してみたいときは？**
随時受付をしていますので、お住まいの学区の小学校へ申込をお願いします。また、活動中に使用するベストを小学校から配布します。
- 活動の時間・回数に決まりはあるの？**
特に制約はありません。一人ひとりが無理なくできる範囲で取り組むことが大切です。

☆☆「ながら見守り」してみませんか？☆☆

スクールガードの活動は難しくても、子どもたちの登下校時間帯に合わせて、家の前で掃き掃除をしながら、犬の散歩をしながら、農作業をしながらなど、何かをしながらの無理のない見守り活動をしてみませんか？地域全体で子どもたちの安全を守る体制をつくりましょう。



問い合わせ 町教育委員会学校教育課学校支援係 (☎ 611-2643)

わが町の ふく人

私は1日に3回、児童の交通安全誘導をしています。朝は矢巾東小学校の通学路交差点で登校中の児童の誘導、昼には1年生児童のスクールガードとしての見守り活動、夕方には同じ交差点で下校中の子どもたちの安全誘導をします。始めたきっかけは、警察官時代に犯罪や交通事故防止などの職務を経験しており、少しでも地域のために何かしたいと思ったからです。毎朝、子どもたちから元気な挨拶をもらうことが私の元気の源です。



渡辺 英夫 さん
煙山交通安全協会 会長
平成18年からスクールガードとして活動中。いろいろなキャラクターの格好で活動して子どもたちの人気者。

次は角館 貢次さんへバトンタッチ！



矢巾町

サロン情報

エン(緑)ジョイ
やはばネットワーク

こびりっこサロン

通いの場
体操くらぶ

西徳田二区自治会

代表者 ^{かわはら ひさこ}
川原 久子さん

月に一度、談話や卓球バレーなどを楽しんでいます。また高齢者の転倒防止のため、参加者の一人が足の爪の切り方や靴の選び方といったフットケアのアドバイスを行っています。今年度は外部からの講師を招いて、防犯・防災意識を高める講座を開催する予定です。



活動拠点 西徳田2区公民館
活動日 毎月最終土曜日 10時～正午(感染症対策のため時間短縮中)
会費 なし
内容 卓球バレー、唱歌、談話、輪投げ、フットケア、ラジオ体操など

しんでんお茶っこ会

代表者 ^{ひろた ちえこ}
廣田 智恵子さん

皆が自由楽しく参加できるように脳トレや体操、ディスコンなど様々なことに取り組んでいます。折り紙や手芸などは、得意な人が先生となって教え合い、にぎやかで笑い声の絶えないサロンです。



活動拠点 新田公民館
活動日 毎月第2・4月曜日午前10時～正午
会費 100円
内容 脳トレ、折り紙、体操、ニュースポーツ、談話、健康チェック、季節行事など

土橋スワンクラブ

代表者 ^{ほそかわ ようこ}
細川 洋子さん

コロナ禍のため活動を休止していましたが、今年4月から再開しました。今年度は体操くらぶのほかにも、休止していたエンジョイや運動会などの活動も再開する予定です。地域で健康に暮らしていくために、皆で楽しく続けていきたいと思っています。



活動拠点 矢巾地区農業構造改善センター土橋
活動日 毎月2・4水曜日 9時30分～10時30分 12月～3月 毎週水曜日
会費 なし
活動内容 シルバーリハビリ体操



認知症とともに生きるまちづくり条例

～認知症になっても安心して暮らすことができる町 やはば～



人生100年時代を迎え、近い将来には65歳以上の5人に1人が認知症になるともいわれています。認知症は特別なものではなく、自分自身や家族など誰にでも起こりうる病気です。

町は、認知症の人と家族を地域で支えることを大前提として、みんなが認知症を正しく理解し、互いに支え合う共生のまちづくりを目的に本条例を制定し、令和5年4月1日に施行しました。認知症があってもなくても誰もが希望を持ち、安心して暮らし続けることができるまちの実現を目指していきましょう！

基本理念

1 認知症の人とその家族の尊厳確保

認知症の人の意思が尊重され、認知症があってもよりよく生きていけるよう障壁を取り除き、誰もが自分らしく暮らし続けることができるまちを目指すこと。

2 認知症の人とその家族の社会参加

認知症があってもなくても一人ひとりがお互いに支え合い、認知症の人でも社会の一員として、一人ひとりが望む社会参加ができるまちを目指すこと。

3 まちぐるみでの支え合い

みんなが認知症に関する正しい知識を持って理解を深め、それぞれの役割を認識して相互に連携し、協働で認知症とともに生きるまちづくりを進めること。

<高齢者にやさしいお店>大募集

町では「高齢者にやさしいお店」に登録したい店舗・企業を募集しています。登録には「認知症サポーター養成講座」の受講が必要です。講座は1時間～1時間半程度で受講料は無料です。ご登録いただいたお店はじょいjoyでご紹介し、「高齢者にやさしいお店」ステッカー(右)を配布します。ぜひご活用ください。

■受講希望・お問い合わせ 矢巾町健康長寿課 Tel 019-611-2830



発行 矢巾町健康長寿課 〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅14-78 Tel 019-611-2830

編集 社会福祉法人 矢巾町社会福祉協議会 〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町南矢幅13-123 Tel 019-611-2840
社会福祉法人 敬愛会・社会福祉法人 爽生会・社会福祉法人 睦喜会・社会福祉法人 新生会